

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



佐藤 徹議員 (市議会公明党)
西部地域の交通安全対策/学校トイレとマンホールトイレ整備

小平市西部地域の交通安全対策をさらに進めるべき

質問 ①都市計画道路3・3・3号線延伸にあわせ、美大通り

横断を含め通学路の交通安全注重点を指導すべきだが見解は。②都市計画道路3・4・23号線、3・3・3号線の街路樹維持管理を、交通安全対策として

定期的実施すべきだが見解は。教育長 ①これまでも児童・生徒の指導等してきたが、改めて安全確保の認識を学校と共有し、必要な指導を行っていく。

市長 ②両路線とも毎年2回程度剪定しているが、交通量の変化も見込まれるため、より適切な



吉瀬恵美子議員 (日本共産党小平市議団)
子育て世代人口推移/多子世帯負担軽減/胸部エックス線検査

市の未来を担う子どもと子育て世代の人口推移と今後の施策は

質問 平成24年の人口推計報告書における平成27年の推計値と、現状の人口推移の違いと特徴は。

市長 27年を18万8千8百32人と予測したが、実績値は19万5人だった。ゼロ歳から14歳の人口は1千6百66人多く、15歳から64歳までの人口も232人多かった。大規模新築住宅へファミリー層が流入し、出産適齢期を迎えていることを要因と見ている。

国民健康保険税の多子世帯の負担軽減で子育て支援の拡充を

質問 子ども子育て支援を本気で



伊藤 央議員 (ムサシ)
少子化対策や公平性の観点からも給食の無償化を

小・中学校給食を無償に

質問 ①「子どもを持つ」経済的負担が増す」という考え方が

少子化を招いているのであれば、これを踏まえた少子化対策をしなくてはならない。直近の給食費の未納額は。

②未納対策と教職員の負担は。③給食提供への未納の影響は。④都内、全国で給食の無償提供を実施している自治体数は。

⑤給食の無償提供を実施した場合の財政負担は。⑥給食の無償提供と少子化対策の関連性は。⑦学校教育における給食の位



小野高一議員 (政和会)
踏切改善、横断歩道、信号設置による交通危険箇所の解消を

青梅街道等の交通安全対策について

質問 ①青梅街道駅南側踏切の拡幅改良による交通危険解消は。

②新小平駅南側山王通り交差点西側への横断歩道の設置を交通管理者へ要望できないか。

③西武国分寺線西側の青梅街道と小川駅通りとの交差点に、信号機設置を交通管理者へ強く要望できないか。

市長 ①27年3月に都と西武鉄道株式会社が現地確認を行った。事故防止対策の実現に向け、引き続き、都及び西武鉄道株式会社に要望していく。



幸田昌之議員 (市議会公明党)
子どもたちを守る交通安全対策/市民を守る防犯対策を進めよう

子どもたちを守る

質問 ①スクールゾーンにA型バリエード等の交通安全対策が

なされている小学校は何か。②スクールゾーンの安全対策が進まない理由と課題は。

教育長 ①A型バリエードを設置している学校は13校で、いずれの学校でも学校関係者やボランティアによる児童の見守り、交通誘導などが行われている。

②交通規制の道路に車両が入ってくるのは運転者が守るべきルールの問題である。今後も交通管理者の協力を得ながら、通学の安全の確保が必要と考える。



中江みわ議員 (フォーラム小平)
高齢化ひきこもり/子育て施策/学園東町地域センターの活用

高年齢化するひきこもりに対する支援のあり方について

質問 ①年代ごとなどひきこもりの実態調査が行われているか。

②ひきこもりに関する相談窓口の情報提供等、周知はどのように行っているか。

③高年齢化するひきこもりの人に支援をすべきだが見解は。市長 ①市ではこれまでに実施したことはない。

②東京都のひきこもりサポートネットと電話やメールによる相談を受けている。

③関係機関と連携を図り、早期に対応し、状況に応じた包括的な支援が必要と捉える。

質問 ①小学校通学路に設置されている防犯カメラについての学校、保護者、地域の声は。②自治会や商店会で防犯カメラが設置された地域はあるか。

③公共施設への防犯カメラの設置、未設置の施設数は。教育長 ①見守り関係者から犯罪抑止効果についての好意的な意見をもらっている。